



EQUINIX

エクイニクス 大江戸コネクト

(New Metro Connect in Tokyo)

都内のエクイニクスIBXデータセンター間をダークファイバーでシームレスに接続

エクイニクスは2002年にTY1 IBX データセンターの運用を開始して以来、TY2 (2007年)、TY3 (2011年) そして2013年には大手町にTY4をオープンしてきました。エクイニクスは、グローバルの方針に基づき、一貫してネットワークが集約する首都圏にデータセンターを開設し、既に国内外の通信事業者が60社以上集まるキャリアニュートラルなデータセンター環境を提供しています。

現在、エクイニクスIBXデータセンター内では、この相互接続により、エクイニクスのプラットフォーム上でユーザ同士が接続して相互のサービスレベルを高めようとする「エコシステム」が構築されています。また、低遅延による高速接続が特に求められる金融業界の企業間では、金融ビジネスに特化した「金融エコシステム」がTY3を中心にすでに形成されています。

これに加え、昨今ではパブリッククラウドと連携する「クラウドエコシステム」の需要が急激に拡大しています。プライベートクラウドとパブリッククラウドを効率的に連携させた「ハイブリッドクラウドサービス」を提供しようとする動きが活発になってきています。

エクイニクスはこのような需要にお客様が迅速に対応できるように、これまではインターネットエクスチェンジサービスを提供するJPNAPやJPIX、EIE (Equinix Internet Exchange) との接続に多く利用されていたメトロコネクトのダークファイバー網を再構築し、新価格帯によるメトロコネクトサービス「大江戸コネクト」を提供することにしました。エクイニクスのユーザはこのサービスを利用した場合、専用線で独自に接続した場合の月額費用を約1/10に抑えることができます。また、この価格はエクイニクスの構内接続サービス「クロスコネクト」と同額であるので、ユーザはデータセンター内でもデータセンター間でも費用負担を意識することなくシームレスに接続することが可能になります。

大江戸コネクトの特長

戦略的な価格体系：35,000円(税別) / 区間

都内の4つのIBXデータセンター(TY1、TY2、TY3、TY4) を一つのキャンパスとして連系

低遅延ネットワークを実現

センターの物理的なキャパシティの制約から解放

エクイニクスのエコシステムを加速

- 金融 エコシステム
- クラウド エコシステム

導入実績

日立製作所様など

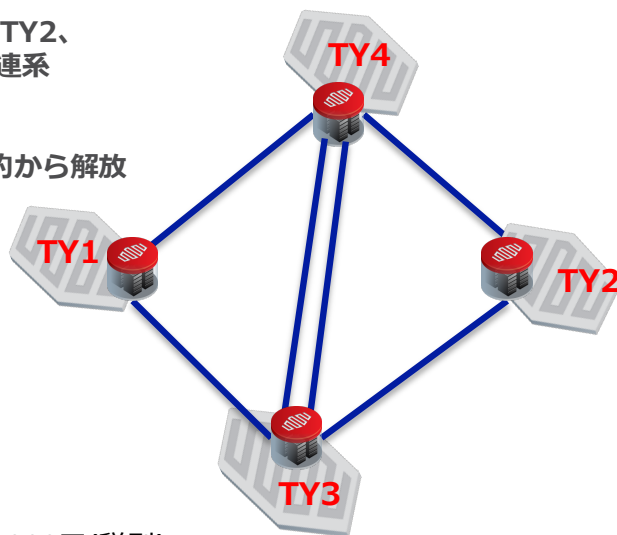
大江戸コネクト月額利用料金

メトロコネクト10G(UnProtected) : 35,000円(税別)

メトロコネクト1G(UnProtected) : 35,000円(税別)

▶ 構内配線サービス「クロスコネクト」と同価格で、専用線に比べて約1/10

▶ 東京IBXデータセンターの2拠点を結ぶ1区間の月額費用



お問い合わせ先

エクイニクス・ジャパン株式会社
〒105-6133 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング33F
www.equinix.co.jp
03-6402-6970(代表)
tyo-info@ap.equinix.com